

平成 27 年 6 月 30 日発行

三重大学 日本語学文学第 26 号 抜刷

コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同（4）

—活版印刷の技術的背景から—

川 口 敦 子

コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同 (4)

―活版印刷の技術的背景から―

川 口 敦 子

1. はじめに

コリヤード『羅西日辞書』(1632年ローマ刊、原題: Dictionarium siue thesauri linguae Iaponicae compendium) について、本稿に先立つ3編の論考^①において、国内外に所在する諸本26点の異同箇所を比較してその系統を分析した。その結果、『羅西日辞書』の本文・頁付けの異同は「改訂前」と「改訂後」の2種類であり、その2種類の異同が、諸本でそれぞれに異なる組み合わせで出現していることが明らかになった。これは、『羅西日辞書』の製本が改訂前と改訂後にそれぞれ分けて行われたのではなく、改訂前と改訂後の本文が両方混在するような状況で行われていたのだということを示している。したがって、『羅西日辞書』において、すべて改訂後の本文を持つ本の探求は現実的には困難であり、また、これまでに指摘のあった箇所の他にも本文異同の可能性のあることを念頭に置いておかなければならないと言える。

さらに今回の調査で、頁付けに3種類の異同がある箇所(p.313の頁付け)が見つかった。したがって、『羅西日辞書』の異同は「改訂前と改訂後」の2種類だけではない可能性が出てきた。

『羅西日辞書』はキリシタン迫害下にあった日本ではなく、ローマで印刷されたことから、現存数が多い。特にヨーロッパの図書館等には所蔵が多く、同じ図書館に複数所蔵されていることもある。ヨーロッパの所蔵調査は未だ半ばではあるが、今回、現時点で日本国内で所蔵が確認できる諸本の調査を終えたことから、本稿ではこれを一つの区切りとして、これまでの諸本調査のまとめとなる報告を行う。

2. 調査対象

『羅西日辞書』諸本の異同に関する追加調査および補遺として、以下の①～④を挙げる。所蔵番号等の情報は、①は2013年9月および2014年9月、②③は2014年10月、④は2015年2月に行った現地調査に基づく。なお、来歴の手がかりのために、所蔵者に関係すると思われる書き入れや印記、登録番号についても記す。

①スペイン王立歴史アカデミー (RAH) 本

スペイン王立歴史アカデミー Real Academia de la Historia, Signatura 14/11911
遊び紙裏に欧文と数字 (No. 10, 207. F) のインク書き入れ。扉に「D. Ludovicus
Caiet. de Lima, Theatinus.」「En bibliotheca RR PP Theatinum」のインク書き
入れ。

印記「BIBLIOTECA REAL ACADEMIA DE LA HISTORIA」「BIBLIOTHEQUE
MAZARINE」「BIBLIOTH. THEATINA」。

天理図書館には「891/イ4」〈B201〉(②)と「891/イ16」〈B513〉(③)の2点が所蔵
されている。「891/イ4」は正篇(複製891/348/1)と続篇(複製891/348/2)の2冊を指すが、
合冊の体裁ではなく、正篇と続篇がそれぞれ個別に製本されたものである。「891/イ
16」は続篇のみである。

②天理本 a

正篇：天理大学附属天理図書館 891/イ4 〈B 201〉(複製891/348/1)

本文欄外に欧文の書き入れあり。p. 84と p. 85の間に4枚の紙(二段組の書き入れ)
を挿入。

登録印「天理図書館 | 1087 [] [] 9 | 昭和十五年七月十六日」。印記「LA OU
AILLEURS」+筆記体「TTJL」、「与路津代文庫」。

続篇：天理大学附属天理図書館 891/イ4 〈B 201〉(複製891/348/2)

背表紙に「AD [] [] D | DICT | IAP」。表見返しに「C2536」「Salluaut」の
書き入れ。遊び紙I表に「frevet」「571」「e | 1414」「1632」の書き入れ。遊び紙
III裏に「X. 193.」の書き入れ。扉に「Bibliothecæ Colbertinæ.1.」のインク書
き入れ。本文および欄外への書き入れあり。

登録印「天理図書館 | 108790 | 昭和十五年七月十六日」。印記「与路津代文庫」。

「This Dictionary is of historic interest as it comes from the library of Jean
Colbert and has on the covers his armorial bearings granted him by the King of
France. | Jean Colbert was the famous Finance Minister whose reforms saved
France. He tried to open trade with Japan on the save terms and privileges as
the Dutch. His letter addressed to the then shogun is quoted in all histories of
that period. | Therefore this book may be said to be unique.」との書き入れのあ
る紙片(表見返し)。「MAISONNEUVE ET [] , qual Voltaire, a Paris. | A LA
TOUR LA BABEL」等のフランス語文が書かれた紙片貼付(表見返し)。「J. L.
THOMPSON&CO., Ltd. | RETAIL | 3 Kaigandori 1 chome | KOBE JAPAN」の

シール貼付 (表見返し)。

なお、天理本 a は正篇統篇ともに全体にわたって書き入れが見られるだけでなく、本文を正誤表に基づいて修正した痕跡が認められる。例えば「icāgari, u」(p. 217左36)の「c」を削って消去し、手書きで加筆して「iiāgari, u」に修正していたり、「nagucdaxi, u.」(p. 224右11)の「c」に手書きで加筆して「naguēdaxi, u.」に修正していたりするなどである。

③天理本 b

天理大学附属天理図書館 891/イ16 〈B513〉(複製891/350)

統篇のみ。

背表紙にインク書きで「Colla|do|Addit|AdDi|ctio []|Iapo []」、「8|C|44」。表見返しに「Ex Bibliotheca | majori Coll. Rom. | Societ. Jesu」の紙片貼付。インク書きの「71. 8. 14.」を横線で抹消し、その右隣に縦書きで「II|15|F」、「II|15|G」の書き入れ。扉に「Bibliothecae Secv. Coll. Rom. Soc Jesu」のインク書き入れ。登録印「天理図書館 |902213| 昭和五七年一月十五日」。印記「天理図書館蔵」。「東京 神田 ISSEIDO」のシール貼付 (表見返し左上)。

④京都外大本

京都外国語大学付属図書館 495.637/Col

正篇・統篇。コリヤード『日本文典』との合冊。

背表紙にインク書きで「Dictiona= | :rium | Linguae Ja= | :ponicae-」。表見返しに「59.3」のインク書き入れ。遊び紙表に「Collado, Diego (? - 1638)」、「13.8-25」(消した痕跡あり)、「8-6」の鉛筆書き入れあり。

登録印「682.3 | 495.637 | Col. | 1632 | 京(都外大図) 書館 | 169085」。印記「ARCIVESCOVO DI GENOVA. GIOVANNI LERCARI」。

京都外大本の p. 313 の頁付けは「331」の百の位の「3」の印字が非常に薄く(「(3) 31」の状態)、線を鉛筆などで書き足した痕跡が認められ、一見すると印字は「31」だけのようにも読めるような状態である。あるいは「331」ではなく「313」の一の位が欠けていて(「31(3)」の状態)、そこに百の位を補って「331」としたようにも受け取れるが、該当箇所の頁付けと本文の活字の位置関係を他の諸本と比較してみれば、この箇所は「31(3)」ではなく「(3)31」であることがわかる。p. 313の頁付けは、これまでの調査では、正しく「313」とあるものの他に、「315」と誤植した例(スペイン国立図書館 SC 本)が存在するが、この「331」はまた別パターンの誤植ということになる。

以上の諸本①～④について、正篇と続篇の異同の状態を【表1】と【表2】に示す⁽²⁾。

【表1】正篇の異同

	① RAH 本	②天理本 a、④京都外大本
042 左 03	zoràcu	zoyàcu
047 右 29	qen-zòcu nu	qen-zòcu no
149 左 36	fòqi, u.	fiqi, u.
151	151	151

【表2】続篇の異同

	③天理本 b	① RAH 本②天理本 a	④京都外大本	正誤表
166	166	166	166	—
179 左 32	faqì, u.	faqì, u.	faqì, u.	—
216	216	216	216	—
217 左 36	icâgari, u.	icâgari, u.	ĩfagari, u.	icâgari, l. iĩgari.
224 右 10	voixida-xi, u.	voixida-xi, u.	voxida-xi, u	—
224 右 11	nagucdaxi, u.	nagucdaxi, u.	nacâgucdaxi, u	nagucdaxi, l. naguẽdaxi.
265 左 15	cumi, u.	cumi, u.	cũmi cumi, u	cũmi; u.
265 左 22	tresquilar	tresquilar	tresequilar	tresequilar, l. tresquilar.
265 左 34	furui, ũ	furui, ũ.	futui, ũ	futui, l. furui.
269 左 23	fo-robòxi, u.	fo-robòxi, u.	fo-roqòxi, u	roqòxi, l. robòxi.
271	269	269	269	—
290 左 23	mucaye	mucaye	mucaye	mucay, l. mucaye.
290 右 20	nàiì	nàiì	nàiì	nàio, l. nàri.
290 右 25	ma-curoi.	ma-curoi.	ma-curoi.	cuioi, l. curoi.
291 左 18	ma-vàxi, u.	ma-vàxi, u.	ma-vàxi, u.	ràxi, l. vaxi.
291 左 34	nozomi	nozomi	nozomi	nozomu, l. nozomi.
291 右 26	famatàgue	famatàgue	famatàgue	famatàque, l. famatàgue.
294 左 37	Coope-rimentum	Coope-rimentum	Coope-rimentum	—
294 右 12	Opiparus	Opiparus	Opiparus	l. Opiparus.
294 右 32	xichini	xichini	xichini	—
295 左 05	coròxi, u.	coròxi, u.	coròxi, u	coròyi, l. coròxi.
295 左 21	daiji.	daiji.	daiji.	l. daiji
295 左 39	vanoyõni	vanoyõni	vanoyõni	—
313	313	313	331	—
320	320	320	320	—
324	334	324	324	—
328	388	328	328	—

3. 諸本の異同

本稿および本稿に先立つ3編の論考で報告した国内・海外の諸本は、以下の31点である。正篇と続篇が分冊製本されているものでも、所蔵番号が同一あるいは連続していて、一つの書物と見なされる場合は1点として扱う。特に言及がない場合は正篇・

続篇の合冊である。なお、複製本の原本のうち、(2)亀井孝氏所蔵本と(6)島正三氏所蔵本の現在の所在については、筆者が調査した範囲では該当する本を見つけることはできなかった⁽³⁾。

・国内諸本

- (1) 大阪府立中央図書館 市河文庫-甲4-貴 (=「中之島図書館本」)
- (2) 亀井孝氏所蔵本 (勉誠社複製本)
- (3) 京都大学経済学研究科・経済学部図書室 上野文庫 CIV-2-COL
- (4) 京都大学附属図書館 3-7/C 3/貴
- (5) 京都外国語大学付属図書館 495.637/Col
- (6) 島正三氏所蔵本 (文化書房複製本。正篇のみ。原本の丁付を消去して現行の活字で頁付け)
- (7) 清泉女子大学附属図書館 405.6/C69
- (8) 筑波大学附属図書館 ベッソン・コレクション198.221-B39-3
- (9) 天理大学附属天理図書館891/イ4〈B201〉(正篇と続篇は別製本)
- (10) 天理大学附属天理図書館891/イ16〈B513〉(続篇のみ)
- (11) 東京大学総合図書館 A 100-10
- (12) 東洋文庫 貴重書 O-17-D-16
- (13) 早稲田大学付属図書館 P/2006特 (正篇のみ)

・海外諸本

- (14) Bayerische Staatsbibliothek (バイエルン州立図書館), 4 L.as. 240 (正篇のみ)
- (15) Biblioteca da Ajuda (アジュダ図書館), Mon. 73-VII-42
- (16) Biblioteca Angelica (アンジェリカ図書館), Rari 12-3-IX
- (17) Biblioteca Apostolica Vaticana (ヴァチカン図書館), Barberini-Y.V.-13 (正篇), Barberini-Y.V.-14 (続篇)
- (18) Biblioteca Apostolica Vaticana, Chigi-IV-504 (正篇), Chigi-IV-505 (続篇)
- (19) Biblioteca Apostolica Vaticana, Mai.-X.D.V.-49 (正篇のみ)
- (20) Biblioteca Apostolica Vaticana, Racc. Gen.-Oriente.-IV.-766
- (21) Biblioteca Nacional de España (スペイン国立図書館), Sala Cervantes R/34593
- (22) Biblioteca Nacional de España, Salon General 3/45034
- (23) Biblioteca Nacional de España, Salon General 4/8501 (=臨川書店複製「マドリール本」)
- (24) Biblioteca Pública Municipal do Porto (ポルト市公共図書館), J-I-69
- (25) Biblioteca Universitaria Alessandrina (ローマ大学アレッサンドリナ図書館), Of-30

- (26) Biblioteca Universitaria Alessandrina, Oo-52 (正篇のみ)
 (27) Biblioteca Vallicelliana (ヴァリチェリアナ図書館), S. Borr.-Q.I.-255 (正篇),
 S. Borr.-Q.I.-256 (続篇)
 (28) Österreichische Nationalbibliothek (オーストリア国立図書館), 73.G.8 Alt Prunk
 (29) Pontifica Università Urbaniana (教皇庁立ウルバノ大学), D-22 a-12
 (30) Real Academia de la Historia (スペイン王立歴史アカデミー), Signatura 14/11911
 (31) Universiteitsbibliotheek Leiden (ライデン大学図書館), Gesloten Magazijn 860 C26

上記の諸本を、まず本文の異同で大別し、さらに頁付けの異同で細分化すると、正篇は a、b、c-1、c-2 の 4 系統に分類できる。なお、(6)の島正三氏所蔵本 (正篇のみ) については、本文は正篇 c に分類されるが、複製本において頁付けが改められており、また現在の所在も不明で原本を確認できなかったため、分類対象からは除外した。

正篇 a : (2) (23) (30)

正篇 b : (21) (22) (31)

正篇 c-1 : (13) (28)

c-2 : (1) (3) (4) (5) (7) (8) (9) (11) (12) (14) (15) (16) (17) (18)
 (19) (20) (24) (25) (26) (27) (29)

正篇において異同の状態がどのように現れているかを、【表 3】に示す。ここに挙げた該当箇所は、その正誤が正誤表に示されていないが、改訂前の状態と考えられるものを上段に、改訂後の状態と考えられるものを下段に示した。

【表 3】諸本における異同の現れ方 (正篇) ●=訂正前の状態 ○=訂正後の状態

			正篇 a	正篇 b	正篇 c-1	正篇 c-2
正篇	042 左 03	zoràcu	●			
		zoyàcu		○	○	○
	047 右 29	qen-zòcu nu	●			
		qen-zòcu no		○	○	○
	149 左 36	fòqi, u.	●	●		
		fiqi, u.			○	○
	151	161			●	
		151	○	○		○

同様に、続篇は a、b、c-1、c-2、c-3、c-4、d-1、d-2、e の 9 系統に分類できる。

続篇 a : (7) (23) (27) (31)

続篇 b : (16)

統篇 c-1 : (18)

c-2 : (10) (11) (20)

c-3 : (1) (2) (8) (9) (12) (15) (17) (24) (28) (29) (30)

c-4 : (3) (25)

統篇 d-1 : (4) (22)

d-2 : (5)

統篇 e : (21)

統篇において異同の状態がどのように現れているかを、【表4】に示す。正誤表を参考に、改訂前と考えられるものを上段に、改訂後と考えられるものを下段に示した。ただし、p. 217左36、p. 224右11、p. 290右20の箇所は、改訂後と考えられる本文の状態が正誤表が示すものとは異なっており、改訂によってさらに誤った状態になってしまったと考えられるものである。おそらくは字形の類似から、正誤表の指示を誤って読み取ったものであろう。

【表4】諸本における異同の現れ方 (統篇)

			統篇 a	統篇 b	統篇 c-1	統篇 c-2	統篇 c-3	統篇 c-4	統篇 d-1	統篇 d-2	統篇 e
統篇	166	(なし)									●
		166	○	○	○	○	○	○	○	○	
	179 左 32	fayi, u.	●	●							
		faq, u.			○	○	○	○	○	○	○
	216	202			●						
		216	○	○		○	○	○	○	○	○
	217 左 36	icâgari, u.	●	●	●	●	●	●			
		îfagari, u. ※							○	○	○
	224 右 10	voixîdaxi, u.	●	●	●	●	●	●			
		voxîda-xi, u.							○	○	○
	224 右 11	nagucdaxi, u.	●	●	●	●	●	●			
		nacâgucdaxi, u. ※							○	○	○
	265 左 15	cumi cumi, u							●	●	
		cumi, u.	○	○	○	○	○	○			○
	265 左 22	tresequilar							●	●	
		tresquilar	○	○	○	○	○	○			○
	265 左 34	futui, ũ.							●	●	
		furui, ũ.	○	○	○	○	○	○			○
	269 左 23	fo-roqôxi, u.							●	●	
		fo-robôxi, u.	○	○	○	○	○	○			○
	271	269	●	●	●	●	●		●	●	●
		271						○			

		続篇 a	続篇 b	続篇 c-1	続篇 c-2	続篇 c-3	続篇 c-4	続篇 d-1	続篇 d-2	続篇 e
290 左 23	mucay	●								●
	mucaye		○	○	○	○	○	○	○	
290 右 20	naïo	●								●
	naïi ※		○	○	○	○	○	○	○	
290 右 25	ma-cuioi.	●								●
	ma-curoi.		○	○	○	○	○	○	○	
291 左 18	ma-ràxi, u.	●								●
	ma-vàxi, u.		○	○	○	○	○	○	○	
291 左 34	nozomu	●								●
	nozomi		○	○	○	○	○	○	○	
291 右 26	ʼamatàque	●								●
	ʼamatàgue		○	○	○	○	○	○	○	
294 左 37	<i>Coope-rimentuu</i>	●								●
	<i>Coope-rimentum</i>		○	○	○	○	○	○	○	
294 右 12	<i>Opipaxus</i>	●								●
	<i>Opiparus</i>		○	○	○	○	○	○	○	
294 右 32	xiqini	●								●
	xichini		○	○	○	○	○	○	○	
295 左 05	coròyi, u.	●								●
	coròxi, u.		○	○	○	○	○	○	○	
295 左 21	daij	●								●
	daiji.		○	○	○	○	○	○	○	
295 左 39	noyõni	●								●
	vanoyõni		○	○	○	○	○	○	○	
313	331								●	
	315									●
	313	○	○	○	○	○	○	○		
320	297									●
	320	○	○	○	○	○	○	○	○	
324	334		●		●					●
	324	○		○		○	○	○	○	
328	388		●		●					●
	328	○		○		○	○	○	○	

●＝訂正前の状態

○＝訂正後の状態

※＝正誤表の指示通りに訂正されていない箇所

【表3】と【表4】を見ると、諸本それぞれの本文において、改訂前と改訂後のものが混在していることがよくわかる。

正篇は続篇よりも諸本のパターンが少なく、すべて改訂後と考えられる本文を持つ正篇 c-2 が存在する。正篇 c-2 の異同箇所がすべて改訂後のものであるのは、製本の際にたまたま改訂後の折丁だけが集められたという可能性もあるが、現存する諸本

の数が非常に多いことを考え合わせると、ただの偶然とは考えにくい。正篇においては、早い段階で本文の改訂作業を終えて、正篇 c-2 が改訂版として流布したものと推測される。

続篇は諸本のパターンが多く、正篇とは印刷の事情が少し異なっていた可能性がある。いまのところ、すべてが改訂後という本文を持つ本は見当たらない。異同が現れる箇所には偏りがあり、それが折丁単位であることは既に指摘したが⁽⁴⁾、どの本にも改訂前の本文を持つ折丁が現れているということは、それだけ改訂前の折丁が製本の段階で使われる余地があったということである。つまり、改訂前の本文はかなりの量が印刷されていたと思われる。

4. おわりに

日本語資料としての『羅西日辞書』をより使いやすいものとするためには、ラテン語とスペイン語部分の翻訳が必要であるが、まずはその基となる本を定めなければならない。本文の誤植などを勘案した上での最善本の探求が必要であるが、諸本の異同の調査により、『羅西日辞書』の続篇の場合は、推測される印刷と製本の過程から、決定的な改訂版と言える本は存在しない可能性が高いことがわかった。これは、印刷の途中段階においても部分的な改訂作業を行いやすい活版印刷だからこそ起こることであり、活版印刷本を扱う研究では常に留意の必要がある。ローマで出版された『羅西日辞書』は、日本国内で出版されたキリシタン版とは出版の条件や環境が異なっているが、同じヨーロッパの技術による活版印刷の作業現場で起こり得ることに、そう大きな違いはないであろう。

筆者がヨーロッパの図書館で資料調査を行った際、「同年出版で特に断り書きがなければ内容は同じである」という態度と、「版本には、特に断り無く改訂された本文があるのは珍しいことではない」という態度の両方に出会った。どちらも、対象が印刷物ゆえの発想である。

キリシタン版を利用した日本語研究においては、このような「活版印刷の技術的な条件によって生じる問題」が見過ごされてきた感がある。例えば、誤植の可能性がある限り、そこに印刷された日本語が「本当に当時の日本語の姿を示しているのか、単純な誤りではないのか」という問題は常につきまとう。だからといって、版本に記された日本語は信用できない、ということではない。印刷された文字だけでなく、それができあがるまでの過程もよく理解した上での分析と考察が必要だということを、改めて確認したいのである。

謝辞：貴重な資料の閲覧をご許可くださった関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

付記：本稿は平成23－26年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（若手研究（B））、課題番号：23720228）による成果の一部である。

【注】

- （1）拙稿「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同 — ローマ、ヴァチカンにおける調査を中心に —」（三重大学人文学部文化学科紀要『人文論叢』第29号、2012年3月）、同「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同（2）— 国内諸本など —」（『三重大学日本語学文学』第24号、2013年6月）、同「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同（3）— 「マドリー本」をめぐって —」（『三重大学日本語学文学』第25号、2014年6月）。
- （2）表の配列は、本稿に先立つ3編の論考に示した表に準じ、誤りと判断される箇所には網掛けを施した。
- （3）亀井本については、亀井孝氏が教授を務め、寄贈資料が所蔵されている成城大学附属図書館に問い合わせた。氏の寄贈資料目録も確認していただいたが、所蔵はないとの回答であった。
- （4）前掲拙稿「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同（2）— 国内諸本など —」参照。

[かわぐち あつこ・本学教員]